

令和4年 新年のあいさつ

新

年あけましておめでとうござい
います。皆さまには、輝かしい
新年をお迎えのこととお慶び申し
上げます。旧年中は組合員・利用
者の皆さまには多大なるご支援を
賜り、お礼申し上げます。

昨年1年間を振り返りますと、
春先の霜害や二条大麦収穫時期の
長雨などにより一部の農産物に被
害が発生しました。また、新型コロナ
ナウイルスの影
響は今もなお続
いており、米や
牛肉、花卉の消
費量が減少して
います。



特に米については、業務用米の
取引減や消費の減少等から、令和
3年産の主食用米作付は、需要に
応じた生産の取り組みを実施する

厳しい状況の中

営農・経済事業改革改善を

宇都宮農業協同組合 代表理事組合長

横松 久夫

ために、JAグループを挙げて作
付転換に取り組みました。

結果、県全体で作付参考値を達
成するとともに、当JAにおいて
も2市1町の作付参考値を達成し
ました。この中心となる飼料用米
への転換は、組合員の皆さまのご
協力により、約574軒の転換が
進みました。今後も、コロナウイル
スの影響等による需要の回復が見
込めない場合は、4年産について
も大幅な作付転換に取り組み必要

があります。

このような中、国や県からの経
営継続補助金、高収益次期作交付
金や、各市町の独自支援金等、農業
所得の安定と農業経営の継続意欲
喚起のため活用いただいたところ
であります。当JAも組合員の申
請手続きを引き受け負託に応えま
した。また、農政対策協議会ととも
に国、県の議員、首長の皆さま方
に、持続可能な農業が継続できる

よう各種要請を行いました。

さて、今年は昨年11月の第32回
JA栃木県大会で決議された、次
期3カ年計画の初年度を迎えま
す。次期3カ年も、不断の自己改革
を実践し「農業者の所得増大」「農
業生産の拡大」「地域の活性化」を
目標に取り組みます。特にJA独
自の支援事業として、親元独立経
営支援事業や園芸施設導入支援事
業など8つのメニューを設定し支
援を行っており、令和2年度には、
約3千万円を支
援しました。

JAをめぐる
状況は、金融事
業、共済事業を
中心に厳しい状
況が続いております。従いまして、
今後ともさまざまな対応策を講じ
ていく必要があります。特に営農・
経済事業は改革改善していきたい
と思えます。組合員皆さまのご理
解を得て進めてまいりますので、
引き続きのご支援ご協力をお願い
申し上げます。結びに、新しい年が
良い年であることをご祈念申し上
げ、新年のごあいさつといたします。

代表理事組合長 横松 久夫

代表理事専務 佐藤 俊伸

代表理事常務 村山 克夫

代表理事常務 見形 繁

代表理事 中山 利久

常勤監事 増淵 昭雄

理事(中央) 池田 久雄

理事(平石) 鈴木 和弘

理事(南平) 青柳 隆一

理事(南平) 関根 信夫

理事(城山) 阿部 栄人

理事(北平) 鈴木 明

理事(北平) 福村 和夫

理事(北平) 半田 光隆

理事(清原) 山口 幸夫

理事(姿川) 今泉 弘

理事(上河内) 手塚 安則

理事(上河内) 福嶋 修

理事(河内) 小田林 徳次

理事(河内) 矢口 正威

理事(南河内) 坂本 英希

理事(南河内) 藤沼 昭夫

理事(上三川) 猪瀬 尚孝

理事(上三川) 坂入 典文

理事(上三川) 稲葉 隆一

理事(女性会) 相良 律子

理事(女性会) 所 洋子

監事(河内) 郷間 清博

監事(上三川) 國谷 修一

監事(員外) 矢古宇 克

JA うつのみやは2021年度、組合員や地域住民との良好な関係を築き、将来にわたって安心して暮らせる豊かな地域社会を実現するために、JAくらしの活動（アグリスクール、女性大学）を開催しました。前年度が新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止になったために2年ぶりの開催になりました。活動の一環を写真と参加者の声で振り返ります。

アグリスクール

アグリスクールは、JAと地域の触れ合いの場として、農業体験や自然学習・料理教室などを通して食と農について学びます。本年度は「梨摘果・収穫体験」「菌床椎茸の栽培方法と収穫体験」など4コースを用意、コロナウイルスの感染対策のために定員は各コース5家族限定で行いました。

10/23



大きなにっこりを選ぶ参加者

大きなにっこり、親子でにっこり「梨収穫体験」
宇都宮市上籠谷町、山口果樹園

参加者の声

「とても大きく重かった。おいしそうなものを選んで収穫しました」

11/3



菌床シイタケの収穫を体験する参加者

大きいシイタケ取れた「菌床椎茸の栽培方法と収穫体験」

宇都宮市白沢町の河内宮農経済センターと
同市下ヶ橋町の福田農園

参加者の声

「大きいのがたくさん取れて、とても楽しかった」

11/6



トマトの選果作業を体験する参加者

自分で選び、食べる楽しみさらに「選果施設見学・農産物パッケージ体験」
宇都宮市田野町の西部選果場と
城山ライスセンター

参加者の声

「トマトの箱詰めが特に楽しかった。トマトが好きなので、食べるのが楽しみ」

11/20



名前が浮き上がったリンゴを手にする参加者

世界で1つのリンゴを手「りんごの収穫体験」

宇都宮市上小池町、阿部農園

参加者の声

「お尻が黄色くて皮がザラザラしているリンゴを選んだ。名前が書いてあって面白い」

12/11



干しいも作り体験でサツマイモをピアノ線に通して、切り分ける作業をする参加者

ふかしたイモを力まず皮むき「干しいも作り体験」

上三川町多功の石崎農園

参加者の声

「少し難しいところもあったが楽しかった。干し芋ができるのが楽しみ」

女性大学

女性大学は、農業・生活・文化などの幅広い講座を通じて、元気な地域づくりと地域住民とのつながりを深めることを目的にしています。第8期の本年度は、5月に入学式・オリエンテーションを実施、7月から11月まで3回の講座を行い、12月の修了式で幕を閉じました。講座は2班に分けて三密を避け、コロナウイルスの感染対策を徹底し、宇都宮市戸祭元町のJA本所で開催しました。



幅広い活動を通して地域の活性化を28人が女性大学に入学

女性組織みどり会 所洋子会長の声

「地域のつながりを深める活動を続けていくことが重要」



2種類のパプリカを植え付け 第1回講座「プランターでパプリカ栽培」

参加者の声

「コロナ禍でおうち時間が増えたので参加した。収穫が楽しみ」



SDGsの取り組み拡大に向けて 第2回講座「食と農について学ぼう」～SDGs目標である「貧困」「飢餓」ゼロに向けて

参加者の声

「勉強していたつもりだったが、できることはまだまだたくさんあると気づくことができた」



寒い冬にも彩りを 第3回講座「季節のフラワーアレンジメント」

参加者の声

「普段は店で出来上がっているものを買っていたので、自分で寄せ植えて楽しかった」



JAうつつのみや 第8期女性大学修了式

参加者の声

「多くの学びの機会を得られたことに感謝する。日々の生活に取り入れ、自己研鑽に努めたい」



オンライン活用、自宅でナシ料理 宇都宮の山口果樹園から



山口果樹園で行われたオンラインイベント



ビデオ会議アプリ「Zoom (ズーム)」を活用したツアー「おうちでにっこり笑顔! にっこり梨づくしセットでにっこり梨マスター!」が10月24日、宇都宮市上籠谷町の山口果樹園で行われ、首都圏を中心に8組が参加し、にっこり梨を使った料理に挑戦しました。

JAグループにおける都市と農村の交流促進を担う一般社団法人、全国農協観光協会が主催しJAが協力しました。ツアーでは、同園の山口幸夫代表がにっこりのたわわに実った畑で、幸水やにっこりなどの品種に応じた1年間の栽培スケジュールを分かりやすく説明しました。この後、にっこりを使った「にっこり梨の肉巻き」作りにも挑戦。チャット機能を使って肉の焼き加減をチェックしました。

中学生が職業体験 宮っ子チャレンジウィーク



宇都宮市の社会体験学習「宮っ子チャレンジウィーク」が実施され、11月8日から11月12日の5日間、宇都宮市一条中2年生の生徒3人が宇都宮市下砥上町の西部営農経済センター管内で地元農家での農業体験やJA施設の見学などを行いました。

「宮っ子チャレンジウィーク」は、中学2年生が学校を離れて地域の施設や企業等に出向き、さまざまな体験をすることを通じ、共に生きる心や感謝の気持ちを育み、主体的に自己の在り方や生き方を見つめることを目的としています。

同校の高楠公英さん(14)、財川蒼さん(13)、田森日陽さん(14)の3人は10日、同センター、同市田野町の西部選果場などを見学しました。高楠さんは「昔から野菜が好き。作ったり販売したりしているところに興味があったので、良い体験ができた」と話しました。



シタケの選果場を見学する生徒

地域農業の課題や対策を検討 地域農業振興検討会



あいさつする横松組合長

JAは11月8日から18日にかけて、支所、営農経済センター8会場で地域農業振興検討会を実施。

2015年から行われている同検討会は、台風被害や新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年連続の中止となり、今回3年ぶりの開催となりました。宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで15日に行われた検討会には、JAの横松久夫組合長ら43人が出席。横松組合長は「10年後の地域農業の見通しや農業振興について今後3年間どのように展開していくのか、皆さんのご意見をいただきたい」とあいさつしました。JA担当者が担い手対策、生産振興対策、販売対策など営農事業の重点取り組みについて説明。また同センター管内における農業の現状について、農家数推移や農業生産拡大対策を説明し、今後の方向性や次期3カ年の取り組みを示しました。意見交換会では、生産者の高齢化や後継者不足の問題に関する意見が多く出され、危機感が示されました。

生産者が神田を奉耕 日光東照宮神田抜穂祭

2

2021年11月

11月12日

玉串を奉納する松島さん



日光東照宮神田抜穂祭が11月12日、宇都宮市篠井地区の石那田町で開かれました。日光東照宮関係者、同地区の生産者、JAの役職員ら11人が参加。新型コロナウイルス感染対策のため、昨年に引き続き少人数での開催となりました。篠井地区では毎年1人の奉耕者を選出し、日光東照宮に神田を奉耕しています。今年は石那田町の松島享さん（68）が奉耕者となり、6月3日に行われた日光東照宮神田植祭で10アールの水田を神田として奉耕しました。抜穂祭は松島さん宅で行われ、稲穂を2俵、もみ殻付き米を25キロの米袋20袋を収穫しました。

松島さんは「無事に収穫し、奉納することができて良かった。関係者の皆さんにはお礼を申し上げたい」と語りました。

奉納された米は来年3月に行われる献穀講大祭に用いられる予定です。

ドライブスルーで農産物販売 宇都宮市の清原地区文化祭

12

2021年11月

11月20日

第38回清原地区文化祭・農業祭が11月20日、宇都宮市清原工業団地の同市清原地区市民センター駐車場を主会場に、清原地区で生産された農産物を数量限定によるドライブスルーで販売しました。秋の野菜詰め合わせ（白菜・ネギ・ニンジンなど7種類）、秋の果物詰め合わせ（にっこり・フジ・キウイの3種類）、タンタプリンセット（6個）がそれぞれ1千円、100個限定で用意。そのほか、コシヒカリ3キロと卵6個の卵かけご飯セットが1千円で60個、パンや加工品のプチマルシェセットが1500円で60個販売し、すべて完売。野菜や果物は、JAうつのみや青壮年部清原支部のメンバーが協力しました。



宇都宮市清原地区市民センターで行われたドライブスルー販売

栃木県議との農政懇談会を実施 農政懇談会

8

2021年11月

11月22日

12

2021年11月

11月22日

あいさつする横松組合長



JAは11月22日、宇都宮市内で栃木県議との農政懇談会を開催。県議やJAの横松久夫組合長ら23人が参加しました。

横松組合長は「コロナ禍の影響により、農業経営には苦しい状況が続いている。稲作農家の経営は非常に厳しく、米の需給関係は改善していない。営農継続、農家経営の安定のため、働きかけをお願い申し上げたい」とあいさつしました。

同懇談会は、JAからの「令和4年度農業施策に関する要請書」、8月にJAとちぎ中央会農協農政対策栃木県本部が県に提出した「令和4年度県農業施策・予算に関する要請」に沿って実施。

需要に応じた米生産対策、園芸生産振興対策、畜産酪農振興対策、消費流通対策、新型コロナウイルスの影響長期化を踏まえた対策の継続・強化などについて対策を要請しました。意見交換会では、米価下落に対する意見などが出され、国に対する働きかけを含め対策に取り組んでいくことが示されました。



青壮年部清原支部が農産物を
フードバンクに提供（11月2日、
宇都宮市竹下町の社会福祉法人
「飛山の里福祉会」を通して）



青壮年部清原支部のメンバーから提供された食材と直井理事長（右）



防犯模擬訓練で防犯体制強化を
（11月4日に防犯会議、9日に
防犯模擬訓練をJA本所で）



本所で行われた防犯模擬訓練



芝野三郎前組合長が
農業事業功労者知事表彰受賞
（11月12日、JA栃木教育センター）



農業事業功労者として知事表彰を受けた芝野前組合長



第30回JA年金受給者友の会
清原支部グラウンドゴルフ大会
（11月10日、上籠谷運動場）
1位：大根田ヤエ子 2位：芝野みつ江
3位：田形美千代



熱戦を繰り広げる参加者



農林業祭中止でもフラワーディスプレイで
来庁者の心に潤いを
（11月15～17日、宇都宮市役所）



来庁者の心を和ませるフラワーディスプレイと農産物展示



女性組織と青壮年部が合同で
ペットボトルキャップを集荷し、
世界の子どもたちへフクチンを
（11月16日、8宮農経済センター）



キャップを計量する青壮年部の盟友
ペットボトルキャップを集荷した丸山明子みどり会城山支部長（右）



みどり会城山支部が
調理ボランティアで
あたたかいた食づくり
（11月22日、宇都宮市戸祭
4丁目の昭和こども食堂）



手際よく天ぷらを揚げるみどり会城山支部員の2人



園芸大国とちぎづくり推進大会で
黒崎浩史さんが土地利用型園芸
コンクール・優秀賞を受賞
（11月22日、宇都宮市本町の
栃木県総合文化センター）



優秀賞を受賞した黒崎さん（後列中央）



第32回JA栃木県大会農業協同組合功労者表彰式
（11月26日、宇都宮市戸祭元町のJA本所）
受賞者は次の通り
市村臣久、林常夫、海老原悟、
鈴木明、小田林徳次、鶴見充衛



第32回JA栃木県大会で農業協同組合功労者表彰を受けた皆さんと役員

組合員の皆さまからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

産地とし高品質なものを ねぎ専門部河内支部が目ぞろえ会

ね ぎ専門部河内支部は10月26日、2021年度秋冬ネギの目ぞろえ会を宇都宮市白沢町の河内営農経済センターで開催。部員やJA・県・全農とちぎ・市場の担当者ら約25人が参加し、現物のネギにより出荷規格を確認しました。

河内営農経済センターで行われた秋冬ネギの目ぞろえ会



にら専門部河内支部 冬ニラ出荷目ぞろえ会

に ら専門部河内支部は11月2日、宇都宮市中岡本町の河内野菜集荷所で冬ニラ出荷目ぞろえ会を行い、部員や県・市場の担当者など22人が参加。現物目ぞろえでは、脱気を重点的に確認しました。

河内野菜集荷所で行われた冬ニラ目ぞろえ会



苺専門部が目ぞろえ会

苺 専門部は11月8日、2022年産イチゴ出荷目ぞろえ会を宇都宮市砂田町の南部営農経済センターで開催。同専門部の瑞穂野・清原地区の部員や全農とちぎ・市場・JAの担当者約50人が参加しました。

南部営農経済センターで行われた2022年産のイチゴ出荷目ぞろえ会



リモートで 施設園芸セミナー開催

園 芸課は11月11日、上三川営農経済センターで施設園芸セミナーを開催。他の3営農経済センターとはリモートでつなぎ、52人が参加。デルフィー日本の斉藤章さんが光合成とハウス内の環境管理について説明しました。

上三川営農経済センターで行われた施設園芸セミナー



にら専門部女性勉強会

に ら専門部は11月15日、上三川野菜集荷所で女性勉強会を開催し、女性ニラ生産者など18人が参加。ニラの袋詰めと脱気作業をシーラーという機械を使って実地で学び、終始和やかに意見を交換し合いました。

順番に自分の脱気方法を披露する女性生産者たち



球根切花専門部が年末年始の出荷に向け ユリの現地検討会を実施

球 根切花専門部は11月19日、宇都宮市内5カ所のほ場で球根切花現地検討会を実施。同専門部員や関係機関の担当者、JA職員ら14人が参加し、ユリの生育状況などを確認しました。

現地検討会を行う同専門部員ら



営農情報

水稲

令和3年産米の概要



3年産は6月上旬までの気温が高く、日照時間も多かったことから平年よりも茎数がやや多い状況でした。例年よりも梅雨の期間が短かったにもかかわらず、気温が低く、日照時間が少なかったため、7月下旬の生育は平年並みとなりました。

出穂は平年よりもやや早く7月27日でした。8月中旬の降雨により登熟期間の日照不足などが心配されましたが、収量は547kg/10a(作況101)となりました。

品質については、9月上旬の降雨の影響による刈遅れ等があり、胴割粒の発生が増加しましたが、カメムシによる斑点米の被害は大幅に減少しました。

栃木県の10aあたり収量及び作況指数(10月25日現在)

	収 穫	作況指数
栃木県	549kg	101
県北	568kg	100
県央	547kg	101
県南	518kg	102

令和3年産米の等級

3年産コシヒカリの11月26日現在の1等比率は97.3%、2等は2.6%、3等は0.1%でした。(表1) 2等以下の格付け理由は胴割粒が35.6%と最も多く、次いで充実度が16.6%でした。(表2)

カメムシの被害は昨年より減少しましたが、増加する可能性も考えられますので、今後も適期防除を実施しましょう。胴割粒の発生は出穂後の高温等の気候的要因もありますが、刈遅れや高温での乾燥、過度な糶摺り圧等も要因となりますので、注意が必要です。

表1

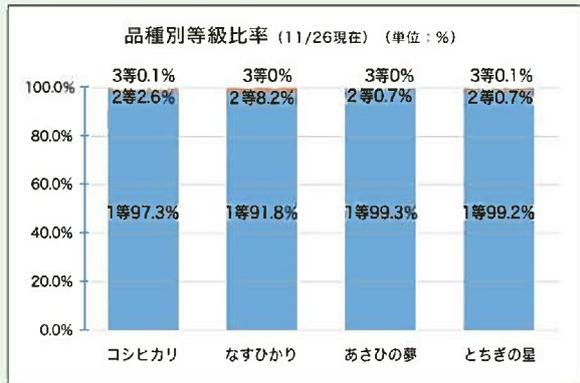
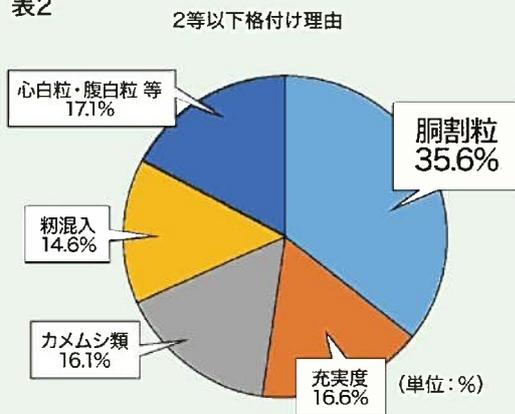


表2



麦



麦踏み

麦踏みは、地上部の過剰生育を抑制しながら、分けつを旺盛にし、根張りを深くするとともに、茎葉汁液濃度を高め、耐寒性を増大させる効果があります。

年末に1〜2回、1月以降は茎立期(3月上中旬)直前までに2回程度実施しましょう。

なお、麦踏みは降雨(雪)後で、圃場が湿っている時や、凍結層がある時は行わず、圃場が乾いた状態の時に実施しましょう。

排水対策の実施

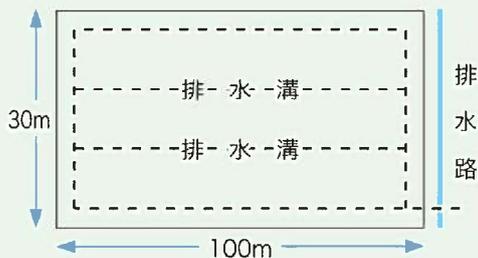
麦はすべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近では、地球温暖化の影響で、雨が一回に激しく降る傾向が強くなり、降雨日の降水量が多くなっています。

排水対策が未実施の圃場については、圃場への排水溝の設置等を出来るだけ早期に行いましょう。(図1) また、設置済みの圃場については、定期的な点検を行います。

【図1】排水対策の例



圃場周囲の排水溝



みどり会中央支部

みどり会中央支部では、三密を避けながら、4月に中央公園で花見会、6月と10月にうつのみや文化の森公園で健康体操、11月に寄せ植え教室を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、屋外中心での活動となりましたが、天候に恵まれ、きれいな青空の下、久しぶりに会う会員との交流は本当に楽しく、あらためてみどり会活動の良さを教えてくれます。普段とは違う状況での活動ですが、みどり会の活動の意義や目的を見つめ直す良い機会となりました。

会員みんな、一日も早く、制限のない元の生活に戻り、笑顔で活動できることを願っています。

健康体操



青空の下、こころと体をリフレッシュ

健康体操



健康体操の後、オカリナの音にうっとり

花見会



桜が満開の中、公園を散策

寄せ植え教室



和気あいあい、自慢の作品の前で



マスク作り



ゴキブリ団子作り



寄せ植え

みどり会豊郷支部

みどり会豊郷支部では、新型コロナウイルスの影響で多くの計画が中止となりましたが、感染防止対策を講じ可能な限りの活動を実施しました。

「マスク作り」「ゴキブリ団子作り」「寄せ植え」は、密を避け、午前・午後の2班に分けて実施しました。ペットボトルキャップ回収運動についても、できるだけ多くの子ども達にワクチンを届けるため積極的に取り組んでいます。

今後も感染状況等を考慮し、工夫して活動していきたいと考えています。また、少しでも早く元の生活を取り戻し、以前のように会員全員で楽しく活動できることを楽しみにしております。



ワンプレート レシピ
One plate recipe

いろいろなキノコとカミのみぞれ鍋



シェフ永井のおすすめ

材料(4人分)

カキ(水洗いして水気をふいておく).....250g
 レンコン(皮をむいてすりおろしたもの).....200g
 マイタケ.....1パック
 足付きナメコ.....1パック
 ヒラタケ.....1パック
 シイタケ.....4個
 ミズナ.....1/2把
 きりたんぽ.....2本
 ゴボウ(ささがきにす).....1本
 さんしょう.....適宜

A(合わせたし汁)
 かつおだし.....1000ml
 薄口しょうゆ.....100ml
 みりん.....100ml
 料理酒.....100ml

作り方

- 1 土鍋にさんしょう以外の材料を並べる。
- 2 Aを合わせて土鍋に注ぎ、ふたをして中火にかける。
- 3 材料に火が通ったらふたを取り、材料を皿に盛り付け、お好みでさんしょうを振り出せ上がり。

茨城県笠間市にある
 天晴(旧キッチン晴人)
 オーナーシェフ
 ながい ともかず
永井 智一



今月の直売所情報

旬の美味しいいちごはJA直売所で!!

地方発送承り中!



地方発送対応店舗: JAグリーンインターパーク直売所 JAグリーンかみかわち直売所 南河内グリーンセンター

特売 南河内
 グリーンセンター
**第3木曜日は
 特売デー**

お米の特売日

JAうつのみや お薦めのみやおとめ(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク直売所 毎月第3日曜日(1/16)



JAグリーンかみかわち直売所 毎月8の付く日(1/8, 18, 28)

南河内グリーンセンター生産者さん募集!!

詳しくは南河内営農経済センター
 TEL: 0285-48-2215
 営農課 森田・上野まで

河内宮農 経済センター

だより

各支所の活動や地域の情報をお届けします!



河内地区

東は鬼怒川に接し、西は田原街道・山田川があり農地が多く広がります。また奥州街道の宿場として栄えた白沢宿、城跡2カ所・多数の文化財・天然記念物が存在します。

旧河内町時代に日本初の「スポーツの町宣言」を行い、健康づくりの盛んな地域づくりがされ、丘陵部には河内総合運動公園の陸上競技場・サッカー場・栃木SCのクラブハウス・丸いドーム屋根が特徴的なドリームプールかわち他、地域内には2カ所の運動場などがあります。



ドリームプールかわち



白沢宿

田原地域に鉄道の跡

皆さんは、知ってましたか? 田原地域に鉄道が走っていた事を。

地区ガイドブック編集に同席させていただいた際、「へー、そーだったのですねー」とびっくりしました。

今も大塚には橋脚跡を見ることができ、古田には駅が設置されていたようですが、形跡を見ることはできません。わずかに5年間で廃止となり、現在の岡本駅に変わりました。



大塚に残る橋脚跡



各種お問い合わせはこちらへ

支所・センター電話番号

中央支所 028-633-3467	南河内支所 0285-48-2211
宝木出張所 028-622-6111	上三川支所 0285-55-1510
平石支所 028-661-4311	宇都宮北部宮農経済センター 028-665-0550
南部支所 028-656-1020	宇都宮西部宮農経済センター 028-658-6565
城山支所 028-652-0711	宇都宮南部宮農経済センター 028-656-8484
北部支所 028-665-0003	宇都宮東部宮農経済センター 028-660-3535
豊郷支所 028-624-8011	上河内宮農経済センター 028-674-2164
清原支所 028-667-0151	河内宮農経済センター 028-673-6911
姿川支所 028-658-6881	南河内宮農経済センター 0285-48-2215
上河内支所 028-674-3333	上三川宮農経済センター 0285-55-1511
河内支所 028-673-3135	住宅ローンセンター 028-622-7100

👛 キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-082065

🚗 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

🏠 JA葬祭(24時間受付)
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスファミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

🛢️ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配送
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085